平成15年第4回
三好町議会定例会

ゆとりと活気ある ふれあいのまちを目指して

平成15年第4回三好町議会定例会が12月5日から18日までの14日間の会期で開かれ、提出された議案9件についてはいずれも原案どおり可決されました。また一般質問は、9日と10日の2日間にわたり行われ、15人の議員が登壇。質問に対し、町長ほか幹部職員が答弁しました。

今回の広報では、久野知英町長の開会時のあいさつの抜粋、提出された議案、補正予算の内容について紹介します。

町長あいさつ

◆水の恵みに感謝して◆

「産業フェスタみよし」を11月2日、さんさんの郷で開催しました。今年は、澄みきった秋空の下、町内外から昨年を上回るおよそ3万6,000人の皆さんにご来場いただき、秋の一日を楽しんでいただきました。会場には、友好提携を結んでいる長野県三岳村や北海道士別市の特産物の出品、商工団体・農業関係者の皆さんによる即売会やサービス、子ども会まつりやゲームなどさまざまなイベントが行われ、大変盛況でした。実行委員会をはじめ関係の皆さんのご尽力に心から厚くお礼申し上げます。

同じ日には、文化センターサンアート開館10周年記念のメイン事業として、創作ミュージカル「三好池物語はるかなる銀色の水」が行われました。これは、昨年6月に結成された三好演劇塾の皆さんによって公演されたものです。三好演劇塾は、小学校1年生から60歳代までの幅広い年齢層で構成され、今年3月の「合唱劇カネト」の旗揚げ公演を経て、今回の公演となりました。

「はるかなる銀色の水」は、世紀の大事業といわれた「愛知用水事業」を題材に、干ばつに苦しむ三好の農民とダムの底に沈む木曽の村人たちの「夢の用水」をめぐる思いをミュージカルに仕立てたもの。演劇塾の皆さんの一丸となっての熱演に、思わず涙を浮かべている人も見受けられ、とても感動的な公演でした。

「夢水潤悠久（ゆめのみずゆうきゅうにうるおす）」木曽の水を満々とたたえる三好池。先人の英知と決断により愛知用水が導入され、これを契機に農業基盤整備が飛躍的に進み、今日の三好町発展の基礎が築かれることになりました。わたしたちが、このことを後生の代まで語り継ぎ、水の恵みに感謝し、下流受益地として、上流水源の森を守っていかなければならないことを、再認識することができた大変有意義なミュージカルでした。指導していただいた先生、熱演された演劇塾の皆さんをはじめ、この公演にご尽力いただきました皆さんに深く感謝を申し上げます。

三好町は、長野県三岳村と友好提携を結んでいますが、その三岳村にある「御岳やまの家」を、来年3月に閉鎖します。御岳やまの家は、昭和59年に開設。長年にわたって多くの町民の皆さんに利用していただいています。しかし、施設の老朽化と併せて、借地期間が満了となったため地主から施設用地の返却と建物撤去の強い要請があり、運営を継続することができなくなりました。御岳やまの家は、閉鎖することになりますが、水の恩恵を受ける下流受益地として、上流水源地三岳村との友好関係は今後も大切にしていきたいと考えています。

御岳やまの家

◆予算編成◆

わが国の最近の経済情勢は、依然、厳しい状況が続いています。今後の景気も、国内需要の自律的な回復力が高まることは、展望しにくいと考えられています。また本町の税収動向についても、主要となる自動車関連産業の先行きが不透明であること、また固定資産税の大規模償却資産について、引き続き県課税分が発生することにより、長期的に非常に厳しい状態が続くものと予想されます。

このような財政状況のなか「最小の経費で最大の効果を挙げる」という地方自治の本旨に立ち返り、事務事業のさらなる合理化、効率化を図るとともに、住民サービスのより一層の向上に努めていかなければならないと考えています。

平成16年度も「心の通う対話とガラス張りの町政」を基本姿勢として「地域バランスのある発展するまち」、「子どもや若者をはぐくみ男女共同参画社会のまち」、「思いやりのあるやさしいまち」、「住環境を重視した文化あふれるまち」、「行政サービスを追い求めるまち」の五つのまちづくりを推進していきます。

平成16年度の予算編成にあたっては「財政の健全化」、「計画行政と行政改革の推進」、「住民本位のまちづくり」の三つを大綱に、次の七項目を重点施策として位置付け、積極的に事業推進を図っていきます。

重点施策の一点目は「教育環境の整備推進」です。きたよし地区に新しく開校を予定している小学校、中学校の建設事業を計画的に推進していきます。二点目は「災害に強いまちづくりの推進」として、東海地震に加え、東南海地震など大規模地震を想定した「地震防災強化計画」の見直し、ならびに各種防災対策事業の推進を図っていきます。三点目は「老人福祉施策の推進」として、高齢者の皆さんが生きがいをもって暮らせる福祉環境の充実に努めていきます。四点目は「子育て支援の拡充」です。「次世代育成支援地域行動計画」の策定をはじめ、放課後児童クラブの拡充など、子育て支援事業の推進を図っていきます。五点目は「快適で安心して住めるまちづくりの推進」として、三好町まちづくり土地利用条例に基づく適正な土地利用の推進により、住みよいまちづくりに取り組んでいきます。六点目は「スポーツ振興事業の推進」です。平成16年7月21日から25日にかけて行われる「2004年世界カヌーポロ選手権大会」の開催と総合型地域スポーツクラブの設立を進めていきます。七点目は「行政改革の推進」として、「行政評価システム」の本格導入に向けた取り組みを行っていきます。

以上の七項目を重点施策として、第五次三好町総合計画に掲げる将来の都市像「ゆとりと活気あるふれあいのまち」の実現を目指して、予算編成に取り組んでいきます。

今後も、住民福祉向上のため、対話のある町政を進め「明るく住みよいまちづくり」を推進していきます。

開会のあいさつをする久野知英町長

■一般会計補正予算

歳出　補正額0円

◆議会費	△574万8千円
◆総務費	1,522万5千円
◆民生費	1,650万5千円
◆衛生費	△2,016万6千円
◆労働費	△322万7千円
◆農林水産業費	△284万2千円
◆商工費	△675万4千円
◆土木費	191万4千円
◆教育費	509万3千円

※一般会計の予算は、歳出予算の科目間の補正が行われた結果、補正額0円となり、補正後の予算額は総額204億2,719万4千円になります。

■提出された議案などの一覧

議案番号	議　案　名
議案第64号	三好町御岳やまの家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例
議案第65号	平成15年度三好町一般会計補正予算（第4号）
議案第66号	平成15年度三好町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第67号	平成15年度三好町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第68号	平成15年度三好町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案第69号	平成15年度三好町介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第70号	平成15年度三好町病院事業会計補正予算（第1号）
議案第71号	財産の取得について
議案第72号	愛知県市町村職員退職手当組合規約の変更について
決議第1号	イラクの復興支援についての決議（可決）
請願第6号	医療・介護・福祉など社会保障の充実とくらしを守る請願（不採択）
請願第7号	自衛隊のイラク派兵についての意見書提出に関する請願（不採択）

※第71号の財産の取得は、黒笹地区小学校用地の買い入れです。